

令和2年度 社会福祉法人 高岡市身体障害者福祉会 事業報告

<法人全体>

- ・当法人は、「利用者の尊厳と地域社会との共生・連携の思想を基本理念とし、公平で公正な法人経営に務める。」とともに、地域福祉(高岡福祉圏)の充実発展に寄与してきた。
- ・職員の働きやすい環境整備として、福祉機器を積極的に導入し、身体的介護負担の軽減を図り、産業医と連携しストレスチェックを実施することで職員の心のケアにも努めている。経営組織のガバナンスを強化し、経営資料の公開や機関誌の発行に留まらず、ブログで施設内の行事や出来事を発信している。
- ・「利用者や働く職員から選ばれる」法人を目指し、利用者の処遇改善と職員の待遇改善を進めている。
- ・法人ホームページのリニューアルを行い、令和2年4月より運用を開始した。
- ・特定施設入居者生活介護事業を養護老人ホーム 志貴野長生寮で令和3年6月より開始。
- ・感染症発生時における派遣の協定書を富山県と富山県民間身体障害者施設連絡協議会(志貴野苑・志貴野ホームが所属)、および富山県老人福祉施設協議会((特養)(養護)志貴野長生寮が所属)と締結する。
- ・法人各事業所の積極的な感染症対策。
- ・社会福祉法人指導監査が令和3年2月25日(木)に高岡市により実施され、指摘はなかった。

社会福祉事業

<本部拠点区分>

- ・令和2年度事業報告・決算の承認
- ・社会福祉充実計画の承認申請
- ・組織規程の一部改正・就業規則の一部改正・経理規定の一部改正・職員給与規定の一部改正
- ・志貴野苑・志貴野ホーム・特養 志貴野長生寮・養護 志貴野長生寮の管理職等の選任

<志貴野苑拠点区分>

①入所利用者は33名定員のところ、現在32名。B型利用者は2月に1名、3月に1名利用開始を含め、現在21名。サービス外利用は、2名。

数年前よりトイレや食事など全介助が必要な女性利用者がおり、志貴野苑での対応が困難になったため、令和3年3月9日に障害者支援施設志貴野苑を退所し、障害者支援施設志貴野ホームに入所する。この方は印刷科で作業をしており、日中都合が合えば、志貴野苑で働きたいと希望される。検討した結果、志貴野ホームの入浴日(火曜・金曜)以外の平日の日中は、志貴野苑を利用し作業をしてもらうことにした。志貴野苑を退所しており、正規契約をした利用者ではないため、サービス利用に係る自己負担金は無償とし、食事代のみ請求することとする。

②外出行事

- ・令和2年度に計画していた福井県への日帰り研修旅行は、コロナウィルス感染予防

のため中止とした。

③苦情解決報告

- ・令和2年年度における苦情報告は、現在のところない。

④設備整備

- ・10月中旬～11月中旬にかけて、屋上防水補修工事を行う。
- ・令和3年3月16日～17日にかけて、施設内の古くなったファンコイル13台を
替える。

<志貴野ホーム拠点区分>

①障害者支援施設 志貴野ホーム

- ・退職者は令和2年12月生活支援員1名。職員採用は、生活支援員2名で令和3年3月1名、4月に新卒者1名が入職予定。
- ・入所利用者は高齢化・重度化が進み入退院が増えている。入退所は、2月死亡による退所1名・3月9日に志貴野苑より入所が1名で、52名定員のところ現在52名である。

②志貴野ホーム障害者福祉センター・高岡市障害者福祉センター（通所生活介護）

- ・対前年比2名/日減少したが、志貴野ホームへの入所と長期入院、介護保険サービスへ移行のため。ただ、4月より支援学校卒業者が週2日利用の予定。
- ・人員配置加算Ⅰ（1：1.7）を取得し、利用者処遇を手厚くすることで利用者からは評価されている。
- ・高岡市障害者福祉センター給湯・エアコン設備整備の更新を令和2年12月より行い、令和3年2月22日完了検査を行った。都市ガスの使用料はガス会社と直接取引となる。利用者から「冬場に暖かく入浴出来る様になった」と喜ばれている。

③高岡市志貴野身体障害者相談支援センター

- ・サービス利用計画作成が多い状態が続いているが、リモートでのモニタリングをする等の工夫で新規利用者を受け入れていく体制を取っている。

④設備整備

- ・7月利用者居室ベッド6台更新、9月非常時用照明全館更新、9月全居室カーテン更新(コロナ補助金)、10月玄関前カーポート設置(家族会一部寄付)、11月ダイルーム用大型空気清浄機(コロナ補助金)、12月食堂用放送設備更新、12月自動寝返りベッド1台浴室天井リフト1台更新(富山労働局補助金)、R3.1エコキュート修理

<特別養護老人ホーム 志貴野長生寮拠点区分>

①特別養護老人ホーム

- ・2名の介護職員を中途採用し、基準以上に配置しているが、利用者の要介護度が重度化しており、介護職員の充足感はない。
- ・利用状況については、今年度1月末までに27人の入退所があり、入院者と合わせると、常に2～3床の空床がある状態（実稼働率：96.48%）
- ・入所待機者は、1月末時点で61人。うち、要介護4、5の申込者は24人で、重度者の割合は高い。

②短期入所

- ・4月～1月末日時点で1日平均3.89人の利用がある。（実稼働率：77.71%）昨年度

より下がってはいる。ただ、在宅の方の新規利用相談は増え続けているが、人手不足等による他の特養での利用制限によるものと思われる。

③地域密着型通所介護

- ・定員 15 名のところ 1 月末までで平均 9.56 人。
- ・利用登録者 26 人のうち、養護老人ホーム 志貴野長生寮の利用者 21 人(約 81%)であり、養護の動向（重度化に伴い、デイ主体からショート主体に利用方法が変わる等）次第で稼働率が大きく低下する状況である。
- ・稼働率向上を図るため、地域のショッピングセンターに「デイサービスだより」を掲示継続や医療機関等など拡大を図っていく。

④居宅介護支援事業

- ・今年度から職員を 2 人体制とし、年度末までに 70 人の契約を目指していたが、1 月末日時点での契約者数は 52 人であり、その中で養護入所者は 33 人である。

⑤設備整備

- ・11 月厨房内ファンコイルの修繕。

<養護老人ホーム 志貴野長生寮拠点区分>

①養護老人ホーム 志貴野長生寮

- ・定員 100 人に対し、実入所措置者数は 80 人弱で推移しているが常時入院者が 5 名程いる状況である。
- ・緊急的なミドルステイは、昨年度のように定員 4 人を超過して受け入れることはなかった。
- ・利用者の重度化が年々進行しており、本来身辺自立していることが要件だが、要介護認定を受けている利用者が 40 人を超える状況が常態化している。対策として、来年度より特定施設入居者生活介護事業を開始する予定で県、高岡市と調整中である。また、特別養護老人ホーム 志貴野長生寮と協議しながら、要介護 3 の方の特養への移行を円滑に促進する必要がある。

②設備整備

- ・10 月正面玄関屋外キャノピーの天井ボードの修繕、屋内喫煙室の設置。